

鎌倉三田會 會報

第8号

2010年8月10日発行

発行人 今田 正廣

鎌倉市由比ヶ浜1-1-8 電話22-0362

平成22年 鎌倉三田会総会 6月13日(日)に開催さる

2010年鎌倉三田会総会・懇親会が去る6月13日、七里ヶ浜の鎌倉プリンスホテルにて開催されました。今年は「鎌倉三田会80年の歴史を次の世代へ」を合言葉に年一回の会員相互の親睦をはかる事を目的として準備をすすめ、当日は幹事一同、揃いの慶應ロゴ入りピンクのオリジナルポロシャツで皆様をお迎えしました。会員、ご家族、御来賓など204名の方々にご出席いただき賑やかで和やかな会となりました。

11時から始まった総会は久保田陽彦会員の指揮による「塾歌」斉唱で幕を開き、久保田雅彦会長のユーモア溢れる開会挨拶、会長の進行による議事承認に続いて、ご来賓を代表した井田良常任理事のご挨拶では母校の発展の様子など心強いお話を伺う事ができました。

恒例の長寿表彰では33名の該当者の内、24名がご出席され、お元気な様子を拝見する事ができました。

引続き、昨年実施されたアンケートでも要望が高く、ようやくこの春開設できた「鎌倉三田会ホームページ」のお披露目を行いました。まだまだ未完成ですが、80年の歴史を未来へ語り継ぐツールとして、会員皆でこのホームページを充実させてゆく事が鎌倉三田会のさらなる発展に繋がるものと期待されます。そのあと久しぶりの春の東京六大学野球で塾優勝サプライズビデオ、日本テレビ「今日は何の日、福沢先生の命日」放映と盛沢山の内容となりました。

12時半からスタートした懇親会は、栗生賢一郎塾員センター課長の音頭による乾杯、近隣三田会、鎌倉五大学の来賓の方々、新入会員、新塾員の紹介と続き、長野県・東京都の塾OB醸造の慶應ブランドのお酒などが振舞われる中、今回作製したペンと三色旗のマーク入りオリジナルグラスを片手に、会員相互の近況や懐かしい思い出話など、和気藹藹の歓談の輪が広がりました。アトラクションでは「後輩学生に発表の場を」の主旨で招いた「クラム・アンサンブル・ミュージック」の映画音楽を中心にした演奏、「鎌倉三田会ならではの賞品を」の主旨で会員に協賛頂いた食事券、グッズなど多数の賞品で盛り上がった三色籤抽選のあと、「丘の上」「若き血」を、肩を組んで斉唱し、95歳ながら大変お元気な中島季治名誉会員の中締めでお開きとなりました。来年は6月25日(土)鎌倉プリンスホテルで開催予定ですので、多数の会員の皆様にご出席頂きますようお願い申し上げます。

< 寄稿 > 「慶応野球部優勝に寄せて」

古瀬光平(昭41文)

神宮の空に江藤新監督の身体が舞う。04年秋以来、11シーズンぶりの優勝である。監督は舞いながら涙し、インタビューで「最高」を連呼、正直、江藤らしからぬ江藤を見る思いであった。

思えば今から49年前の昭和36年8月、慶大野球部の日吉グラウンドに、慶応義塾大学を受験志望する高校野球の選手達が集まった。それが江藤省三との初めての出会いである。

彼は名門中京商業で鍛えられ、甲子園の経験もあるうえに、プロ野球の強打者江藤慎一選手の弟……。ネームバリューが違った。それでも本人は浮ついているところはなく、落ち着いてどっしりしている。それが江藤についての第一印象であった。

合格後4年間、その性格にリーダーシップが加わり、持ち前の勝負強いバッティングと併せ、まさに頼りになる主将として野球部員を引っ張った。在学中には複数回の優勝も経験しているが、この間、一度も彼が涙した事を見たことがなかった。その彼が泣いた。

春のシーズン前、同期の仲間達と新監督の激励会を開いた。

優勝を目指すと言う抱負と共に、元プロ野球選手としての周囲からの見方、選手との年齢差、子供の頃から高校までの現代の野球環境の昔との相違、そして何よりも若い人たちとの考え方の違いから来る練習方法やチーム運営の悩み等々が、彼の言葉から窺い知れた。

塾野球部出身の、スポーツジャーナリストとして著名な松尾俊治先輩が『三田倶楽部』会報に著された記事によれば、

江藤新監督は「練習は完璧を生む」をスローガンに基礎練習を繰り返しやらせた。「王さんや長嶋さんも素振りが好きだった」の言葉で、毎日1000本の素振りを選手達に課した。

また「出来上がった選手で勝つプロとは違って、大学野球は鍛えれば鍛えるほどうまくっていく」。そして優勝のかかった慶早戦を前にして「慶早戦というのは他の学校では体験できない最高の舞台だから、大いに楽しもう」「佑ちゃんを打って勝てば社会人になっても自慢できるぞ。優勝したら孫が出来ても自慢できるぞ」と実に彼らしいメッセージを出し、湯本主将は優勝を決めた勝利の後、「監督の言ったことは何でもやろうと思った。話の次元が違うので説得力がある。監督についてきて良かった」と話したという。

胴上げの涙はリーグ戦前の下馬評を覆した喜びも当然あると思うが、監督就任後を感じた選手達との考え方のギャップを克服できたという指導者としての信念の涙であったのだろう。野球の原点に立ち返り選手達の可能性にかけた監督と、地味な練習の継続であっても監督を信じてついていった選手達。歳の差、50歳に近い男達の夢の実現であった。

<地曳網のお知らせ> 新しい企画を取り入れて皆さまをお待ちしております。

日 時 平成22年9月5日(日) 午前9時～11時30分頃
(受付時間は8時30分～9時00分)

場 所 鎌倉・材木座海岸(目印に例年通り三色旗を掲げます)

<茶話会のお知らせ>

連絡先 渡邊 範子 0467-22-6469

来年3月3日(木)に、女性会員対象に『茶話会』を計画しております。雛祭りの日の午後のひととき、楽しい会をご期待ください。講師は未定ですが、日本の良さを知る会にしたいと企画しております。詳細が決まりましたらご連絡いたします。雛祭りですので「殿雛」のご参加も多数お待ちしております。

<親睦会のご案内>

<歩こう会>

連絡先 今井 光 090-7250-3200 中島 慶一 0467-24-3019

事前申込不要。会費無料。家族友人の参加も歓迎。お弁当を持って10時鎌倉駅西口時計台広場にお集まり下さい。ゆっくり10キロ弱を歩きます。終って有志で楽しく一杯もやります。8.16(月)「十二所の緑陰を歩く」9.20(月・祭)「初秋の台峯散策」10.18(月)「衣張山から秋の鎌倉を見る」11.15(月)「天園ハイキングコースを歩く」12.20(月)「鎌倉名残の紅葉を愉しむ」1.17(月)「秘境番場ヶ谷を訪ねる」2.21(月)「鎌倉の寺社に梅を求めて」3.21(月・祭)「初春の海辺散策」*履き慣れた靴、リュック(手には持たない)、雨具、敷物、健康保険証、あれば福寿手帳。

<フォトクラブ>

連絡先 森 孝之 0467-44-2627 安藤 昇 0467-32-5178

今回はフォトクラブWEBギャラリーについてお知らせします。この度、新しく開設されました鎌倉三田会ホームページにギャラリーをつくりました。このギャラリーでは、フォトクラブの会員が撮影した作品を常時展示しています。作品の更新は、毎年3月、6月、9月、12月の各月末に行う予定で、現在は2010年3月号、6月号を掲載中です。是非一度ご覧になってください。自分も作品を出してみたい方、興味を持たれた方など、ご質問は幹事をお願いします。尚掲載する作品の制約は何もなく自由です。

<早慶戦で応援する会> 連絡先 古瀬光平 23-3807 永野幹晴 24-2290 渡邊範子 24-5117

春の野球で11シーズン振りに優勝、初めてテニス、バレーボール観戦、多いに楽しみました。秋は野球が春に続いて二連覇、ラグビーは早稲田を倒し関東対抗戦に優勝できるか。二年振りにアイスホッケー観戦とまた多いに楽しみ、秋の夜長を反省会を盛り上げましょう。

<釣い部>

連絡先 四十八願 肇 0467-22-0736

秋サバの美味しい季節になります。アジ・サバ・イナダ等の青魚を狙い釣行します。釣り道具は準備しますのでクーラー1つで参加しませんか。申し込みをお待ちしています。とき 10月16日(土) ところ 腰越港 秋田屋 仕立て船 費用1万円程度。
*下船後、釣りあげた鮮魚の宴会をします。(世話役宅)午後6時から。

<美術部>

連絡先 永野 修武 0467-22-6961

第11回グループ展は次の通り開催します。☆日時:10月19日(火)~24日(日) 午前10時~午後5時(初日12時から、最終日午後4時まで) ☆会場:鎌倉生涯学習センター地下ギャラリー Dコーナー。ジャンルは多彩ですので、出展してみようと思われる方は、今からでも是非ご連絡ください。皆さまのご来場をお待ちしております。

<ゴルフ愛好会>

連絡先 四十八願 肇 0467-22-0736 原 晴實 0467-24-3654

コンペは、次のとおり。第14回 10月8日(金)湯河原CC。8時00分インスタート6組。第15回 11月26日(金)磯子CC。9時31分インスタート6組。参加申し込みは、第14回は9月10日、第15回は10月29日までに幹事へ連絡下さい。開催内容を郵送します。今年の鎌倉六大学の優勝校は東京大学で、慶應義塾は3位でした。明年の我が義塾の予選会は特に開催せず、年間4回のコンペのうち少なくとも2回以上の参加を条件とし、3回以上参加の場合は、グロスの良い2回分の平均で上位者を選抜します。

<丘の上句会>

連絡先 松岡洋太郎 0467-43-6279

☆発 足:2008年11月 ☆選 者:山名愛三郎(慶大俳句丘の会会員)(鎌倉若葉俳句会代表) ☆会 費:1ヶ月500円 ☆活 動:毎月第2金曜日 午前10時から吟行 午後1時から約2時間鎌倉文学館にて句会 ☆今年の吟行先;鶴岡八幡宮、坂の下海岸、小動岬、安国論寺、浄光明寺、高德院、瑞泉寺。

<史跡めぐり部>

連絡先 今田正廣 0467-22-0362 岡林 馨 0467-22-8058

史跡めぐり部は、毎年、春・秋に鎌倉市内の神社や仏閣を中心に歩いています。個人では見学不可能な仏像・建築・美術工芸品などを見学し、詳しい解説を聞くことができます。最近の実績では明月院・東慶寺などの禅宗の古刹、安国論寺・法性寺など日蓮ゆかりの寺院、そして「鎌倉七口」のひとつ、名越切通しなど、世界遺産登録にかかわる遺跡をめぐり「鎌倉再発見」の良い機会となりました。郷土の歴史を愛する皆様のご参加をお待ちしています。

<読書会>

連絡先 岡林 馨 0467-22-8058 根岸直宏 0467-22-7126

当会は原則として毎月第4木曜日の午後1時より、豊島屋本店4階会議室にて開催します。最近では阿部謹也『物語ドイツの歴史』を終え、6月より内田樹『私家版ユダヤ文化論』に入りました。いずれも新書版なので読みやすく、どなたでも参加できます。また政治・経済・社会・歴史・文学・芸術など、広い分野からメンバーの要望や意見によりテキストを選び、自由闊達な議論をかわすことができるうえ、終了後には有志によるビールやコーヒーを味わいながらの歓談も楽しい集いです。

<ロボット・ものづくり研究会>

連絡先 林 達郎 47-1122 林 大雅 22-1445

小惑星探査機「はやぶさ」は日本の科学技術力に明るい話題を投げかけています。当該研究会は科学技術を身近な話題とすることを目的に活動しています。平成22年は3月に日産追浜工場で最先端ロボットを見学しました。そして8月13日に鎌倉生涯学習センターで総合研究大学院大学・平田光司先生をお招きし「太陽観測から始まる宇宙の謎解き」と題し、最先端科学とそれを支える観測装置に関する開発研究のロマンについて懇話会を計画しています。参加ご希望の方は下記にメール、又はFAXでご連絡下さい。

E-mail: hayashit@kamakuranet.ne.jp FAX: 0467-47-1122

<事務局からのお知らせ>

1. ホームページの開設について

前号でお知らせのとおり、ホームページを開設しました。行事予定や各親睦会の実施行事の詳細などの会員の皆様宛の情報を、より早く、また詳しくお知らせすることができるのでご活用ください。

「URL」は次のとおりです。<http://kamakura-mitakai.jp/>

2. 年会費振込について

平成22年度年会費未納の方に振込取扱票を同封しました。お手数ですが、最寄りの郵便局にて早めにお振込みをお願いいたします。なお振込手数料は不要です。

3. 新会員ご紹介の依頼について

ご家族、知人、友人で、当三田会に見入会の塾員がいらっしゃれば是非ともご入会のお誘いをお願いいたします。

4. 「鎌倉三田会」オリジナル商品（ポロシャツ・グラス）の販売について

先般の総会、懇親会の会場にて販売したポロシャツ（慶應150年ロゴ入り。ピンク色一枚3000円）およびグラス（ペンマーク入り、または三色カラー入り各500円）に若干の在庫がございます。購入ご希望の方は、事務局宛ご連絡ください。先着順で販売致します。

<新役員の紹介>

7月25日の幹事会にて、小林俊一君（昭53工）が、幹事に選任されました。若手幹事として、今後のご活躍を期待しております。

<新入会員のご紹介>

☆加藤秀子君（平20法）・☆市川泰君（昭50経）・☆赤松宏君（昭40商）・☆斎藤仁君（昭40商）・☆谷津直生君（昭38経）・☆谷津聖子君（昭38文）・☆永山克彦君（昭50商）

<会員の住所変更>

☆原 郁子君（平19政）新住所：〒248-0004 鎌倉市西御門2-10-6

☆上野 充君（昭32法）新住所：〒247-0065 鎌倉市上町屋610-2 レジデンス鎌倉102

☆関本昌秀君（昭28文・33文博）新住所：〒251-0015 藤沢市川名181-18-H307

電話 0466-26-4002

☆竹内 良君（昭50法）新住所：〒247-0005 鎌倉市小袋谷1-9-55

● 訃報

次の方々をご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

- | | |
|---------------|--------------------|
| ●時国範夫君（昭19経） | ●渋谷浩二君（昭22工） |
| ●久保田隆治君（昭22普） | ●飯島章禎君（昭32法、昭35法修） |
| ●笹島恒輔君（昭24政） | ●加藤庄司君（昭38文） |
| ●鈴木和重君（昭41商） | ●永井一茂君（昭27経） |

（会員の方で、事務局にご連絡いただいた方を

ご報告させていただいております）

<編集後記>

連日、暑い毎日がつづきますが、皆さま、お変わりありませんか。

今回は、江藤監督と野球部同期の名捕手として鳴らした、古瀬光平幹事に監督の人となりを書いていただきました。なかなか素晴らしい文章で、人物像が良く表現されていて人となりがしっかり理解できました。

また、今回も各親睦会のご案内を多数掲載しましたので、良くご覧いただき、どしどしご入会ください。限られた字数のため、もし不明の点がありましたら、各世話役に直接、おたずね下さい。会員の皆さま、厳しい暑さが続くと思われませんが、お身体ご自愛下さい。なお、次回の会報の発行は、明年3月を予定しております。（H. H）